国際洞窟学会議第18大会に参加して～フランス遠征記・洞窟記載を添えて

A Report of UIS Congress 2022 in Savoie, France with diary and cave description

伊藤雄氣（Yuki ITO）
東京スペレオクラブ・大阪市立大学大学院（原稿執筆時）所属　大阪府在住

Fig. 14　Grotte de la Chaire

〈概要〉

国際洞窟学連合 (UIS: Union Internationale de Séléologie) が主催する国際洞窟学会議第 18 大会 (ICS: 18th International Congress of Speleology Savoie Mont-Blanc 2022) が 2022 年 7 月 24 日 (日) から 7 月 31 日 (日) にかけて、フランス・サヴォア・モンブラン大学のブルジェ = デュ = ラックキャンパス (サヴォア・テクノラック Savoie Technolac) にて開催されました。本来は国際洞窟・カルスト年に合わせ 2021 年に開催される予定でしたが、世界的な COVID-19 蔓延の影響で延期され、この会期となりました。様々の分野の講演が行われるシンポジウムやポスター発表に加え、写真家による写真展、映像作品の上映、SRT の技術を競うスペレオリンピック (Spéléolympics)、様々な団体がブースで出品する物販、移動式の洞窟体験ができるスペレオトラック (Spéléotruck) など、様々な催しが行われました。

また、その直前の 2022 年 7 月 17 日 (日) から 7 月 24 日 (日) にかけて、フランス・アルデシュで第 6 回国際洞窟写真家会合 (Sixièmes Recontres Internationales des Photographes du Monde Souterrain) が ICS のプレキャンプ (Photo Camp in Ardèche) として開催され、今回私はそちらにも後藤さんのアシスタントとして参加してきました。

〈パリ – リヨン – シャモニー〉

私は日本からドバイを経由して 7 月 14 日にパリに到着し、この日はちょうどフランス建国記念日 (パリ祭)。運よくエッフェル塔に上がる花火がみられました (Fig.1)。街のごちゃごちゃした感じや人の多さは、セーヌ川という大河沿いで上がる様子は大阪の淀川花火大会を想起させました。そこから車内で広大な平原を眺めながら、リヨンに向かいました。

リヨンでは後藤さん・中込さん・塩田さんと合流しました。かつて日本にいて、今はサンテティエンヌに住んでいるフロランに現地のレストランでフランス料理をご馳走になりました (Fig.2)。本格的なフランス料理はとても美味しかったです。そこから後藤さんの運転でモンブ

Fig. 1　パリ祭の花火

Fig. 2　フロランとリヨンでフランス料理

Fig. 3　Grotte de Glace

Fig. 4　エギーユ・ドゥ・ミディから望むモンブラン